

T R Y ! N E X T J O U R N E Y



2020年6月期 決算説明資料

2020年8月

株式会社グリーンス

(東証一部：6547)

目次

1. 会社概要	… P. 3
2. 2020年6月期 決算概要	… P. 7
3. 収益力強化に向けた取り組み	… P.19
Appendix	

1. 会社概要

会社概要

～ ホテルオペレーターとして60年以上の実績を有する ～

会 社 名

株式会社グリーンズ

本社所在地

三重県四日市市鵜の森1-4-28 ユマニテクプラザ 5 階

設 立

1964 [昭和39]年 1月 ※創業は1957年 [昭和32年] 7月

代 表 者

代表取締役社長 村木 雄哉

資 本 金

1,948百万円

従 業 員 数

連結:2,201名<正社員 717名、パートナー社員 1,484名>

2020/06期末

事 業 内 容

ホテル・レストランの経営、その他付帯する業務



TRY! NEXT JOURNEY

新たな旅に踏み出そう

もっと、 自由な旅へ

高い利便性とコストパフォーマンスをお約束するホテル事業をベースに、世界中のすべての人へ安らぎのある「自由な旅」を提供します。

もっと、 人と環境のそばへ

お客様はもちろん、働く人たちも含めたステークホルダーの皆様の人生も輝くホテル経営を。人と環境に優しいホスピタリティあふれる企業を目指します。

もっと、 ワクワクする未来へ

お客様のニーズを一步先取り。ワクワクするような感動のあるサービスを提供します。また、新たな仕組みを積極導入し、働く人たちが楽しみながら成長できる環境を創ります。

当社事業運営の特徴・強み（基本戦略）



株式会社
グリーンズ

他社との
差別化

2つの異なるスタイルのホテル事業を有し、双方の特性を融合することで幅広い事業展開を実現

チョイスホテルズ事業



- 機能性と快適性を重視した宿泊特化型ホテルを主要都市の駅周辺等に多く展開
- 世界トップクラスのホテル軒数を誇るグローバルホテルチェーンとのシナジー（マスター・フランチャイズ契約を保有）
 - 世界基準、かつ最先端のホテル運営ノウハウを日本仕様にアレンジして展開
 - 日本では当社のみがそのノウハウを利用可能



グリーンズホテルズ事業

GREENS HOTELS

- 宿泊特化型ホテルを中心に、集宴会・レストラン等を兼ね備えたシティホテル等を幅広く、柔軟に展開
- 60年以上の実績を誇る当社オリジナルのホテル
 - 地域特性を活かした朝食メニューやサービスで顧客満足度を追求
 - 長年にわたって蓄積された信頼とホテル運営ノウハウ また、料飲部門のノウハウも有する

独自ポジション
の構築

中間料金帯のグローバルブランドとして日本で唯一全国展開に成功

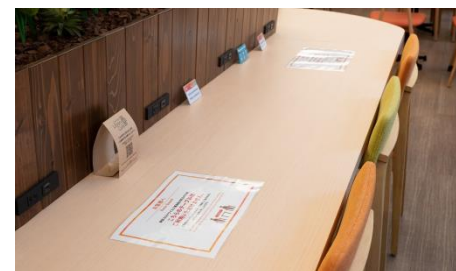
今後もビジネスモデルを深化（＝出店地域や運営方式等に関する選択肢を拡大）させ、成長を実現

2. 2020年6月期 決算概要

はじめに ～ 信頼の獲得、安心安全の提供

お客様に向けた新型コロナウイルス感染症予防対応

- 宿泊者に新型コロナウイルス感染者が発生した際には即座に詳細な情報を公表
 - ・感染者が発生したホテル名、感染判明の経緯、濃厚接触者の有無、感染拡大防止に向けた対応 等
 - フロント対応時の取り組み
 - ・クリアパーテーションを設置、マスク着用
 - 朝食対応時の取り組み
 - ・従業員はマスク、手袋を着用して対応
 - ・衛生面から一部メニューの提供を停止
 - ・レイアウトの変更（席を一部間引き）
 - ・ご希望により、部屋に運ぶことが可能
 - パブリックスペースでの取り組み
 - ・ロビーにアルコール消毒剤を設置
 - ・パブリックスペース、エレベーターボタンなど、各所を定期的にアルコール消毒
- さらに…
- 一部店舗で
コロナ対応覆面調査
を実施
- 顧客のコロナ対策に
対する不安を払拭へ
- 顧客満足度向上



席の間引き・レイアウト変更



パブリックスペースのアルコール消毒

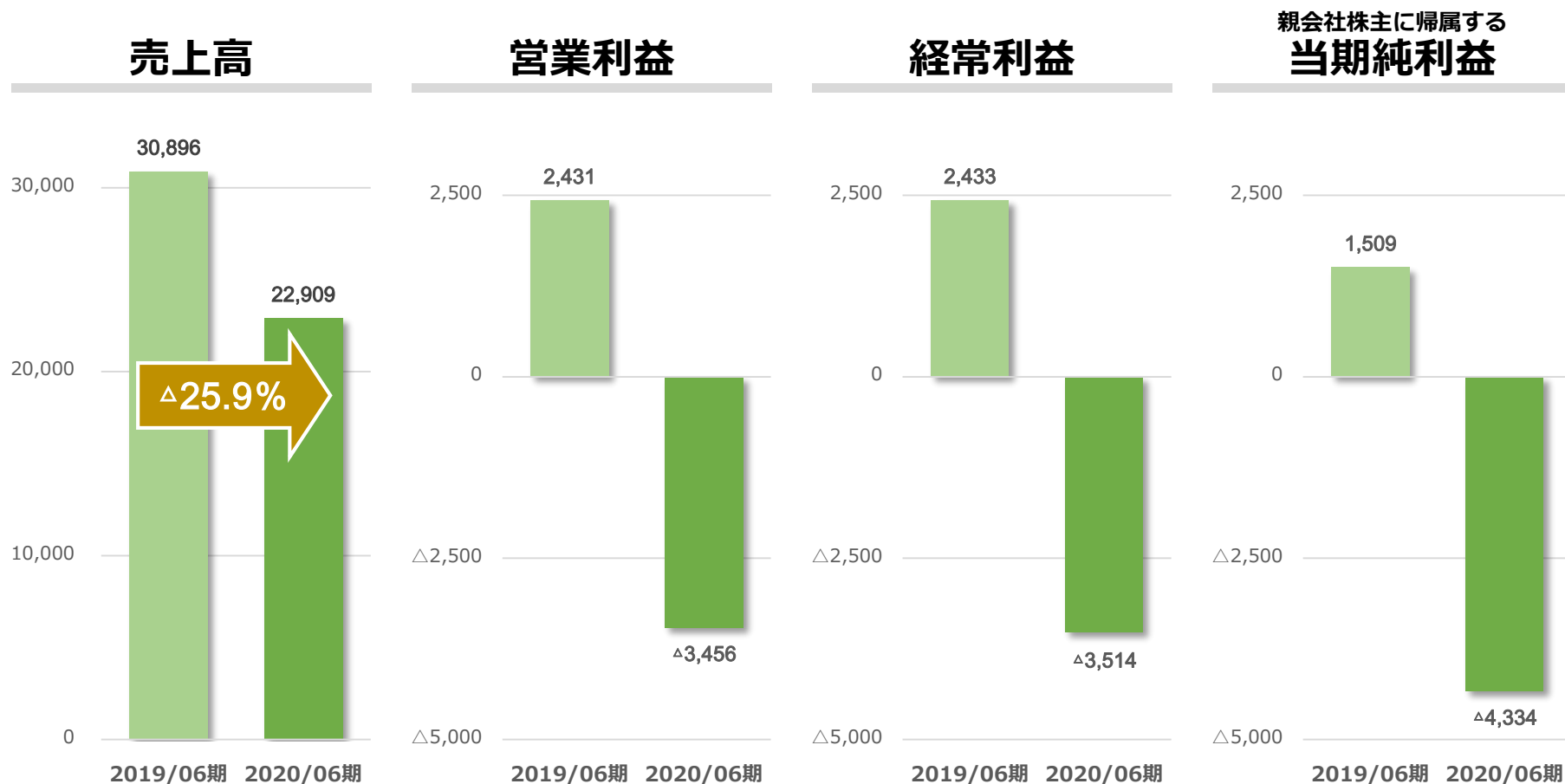
従業員の雇用確保、安全確保

- 需要の底打ち・反転を速やかに業績回復につなげるべく従業員の雇用を維持して準備
- 時差出勤や一部テレワークの推奨、WEB会議の活用

決算ハイライト①

- 都市部を中心とした客室の需給バランスの崩れ等に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が加わり大幅減収、利益も厳しい結果となった

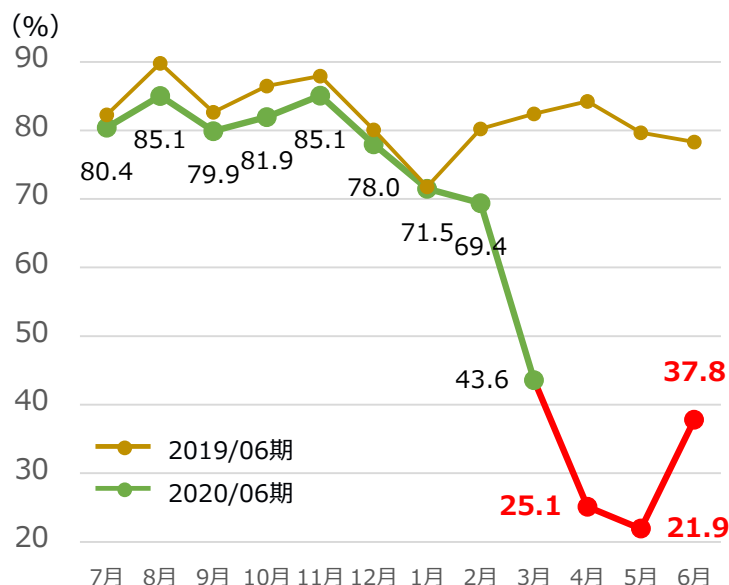
(単位：百万円)



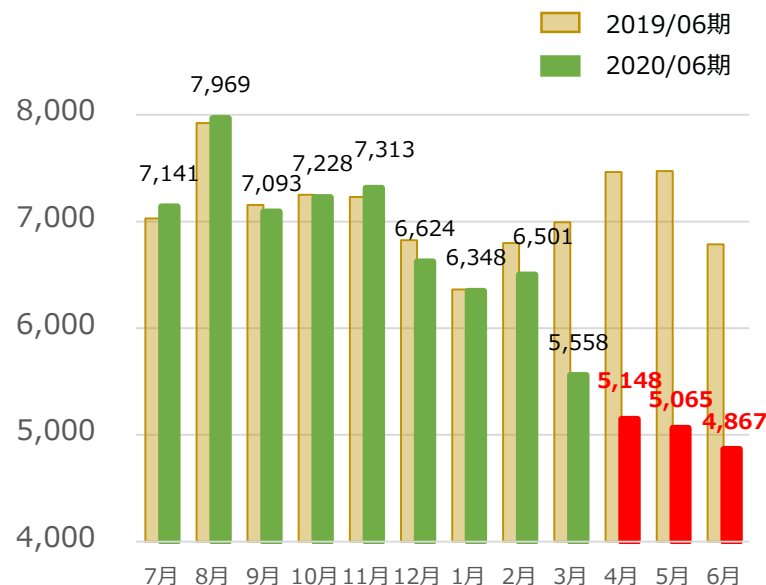
決算ハイライト②

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について
⇒4-6月期に急速に影響が拡大（休業店舗の発生※）

客室稼働率（全社）



客室単価（全社）

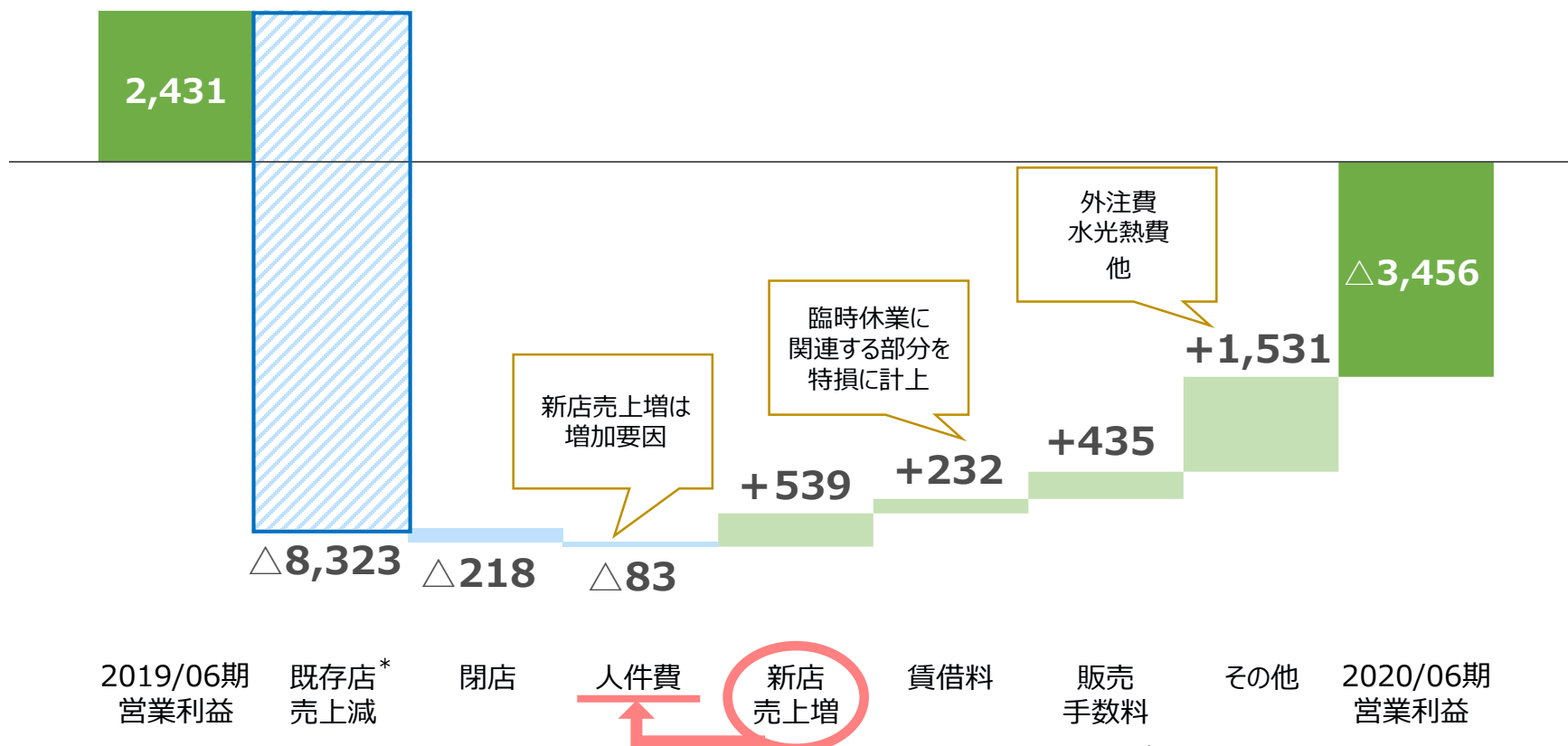


- ※ 緊急事態宣言の発令地域で運営する一部店舗（10店舗）で
4月10日より順次休業を実施
⇒ 9店舗が6月初めまでには営業再開（残り1店舗も6/30より営業再開）

営業利益 増減分析

単位：百万円

増減額合計 △5,887	
増加額合計 +2,737	減少額合計 △8,624

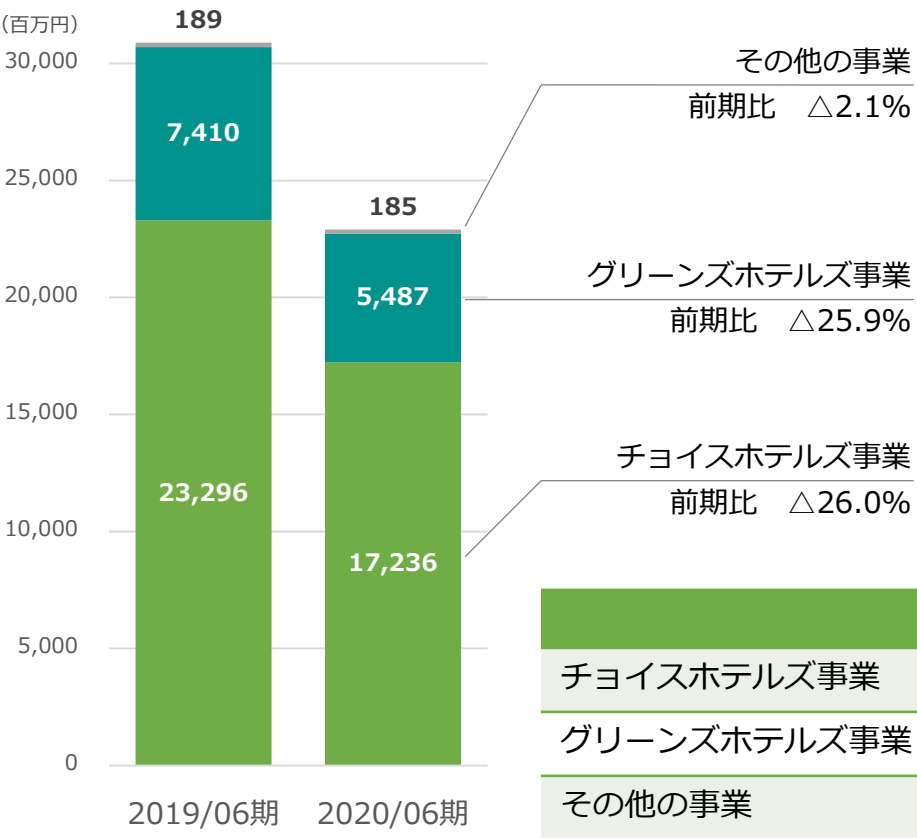


*2018年7月1日時点で営業を開始していたホテル

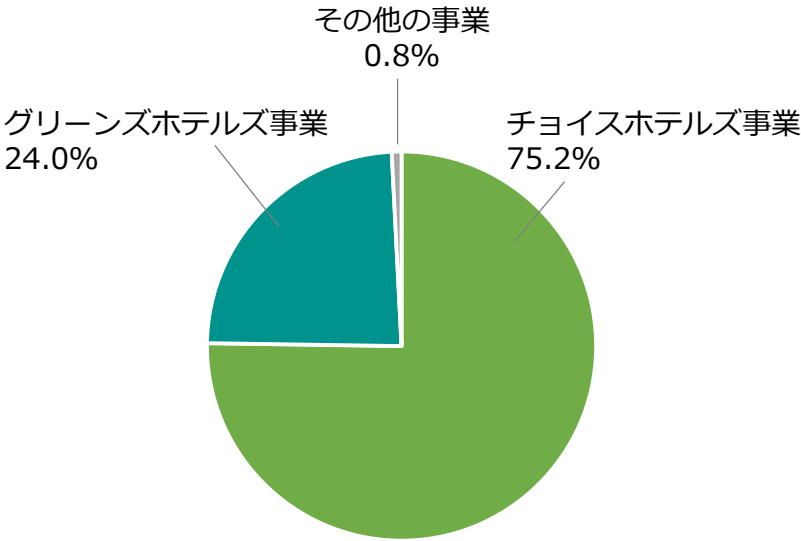
事業別の状況

- **チョイスホテルズ事業**：新型コロナウイルス感染症の拡大（国内宿泊需要の急減）
 + インバウンドの伸び率鈍化、台風の影響、大都市圏の需給バランスの崩れ
- **グリーنزホテルズ事業**：新型コロナウイルス感染症の拡大（会議、宴会利用の減少）
 + 三重県内のビジネス需要の落ち着き、設備不良による一部販売不能客室の発生

事業別売上高



事業別売上高構成比



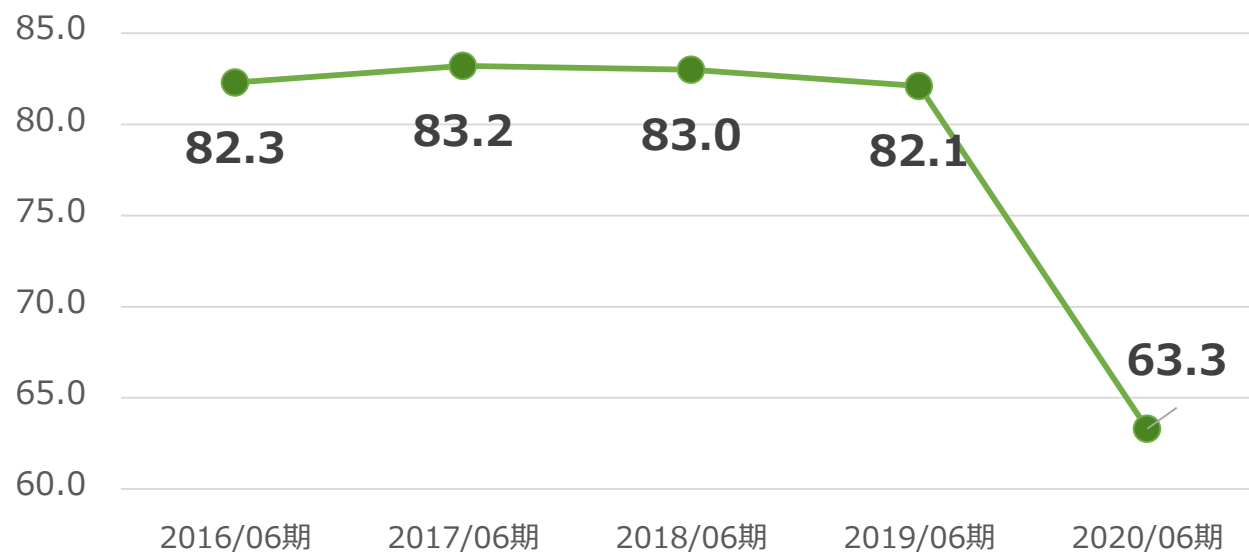
	2016/06期	2017/06期	2018/06期	2019/06期	2020/06期
チョイスホテルズ事業	18,056	18,840	19,707	23,296	17,236
グリーنزホテルズ事業	6,781	6,987	7,254	7,410	5,487
その他の事業	168	186	181	189	185

主な営業指標 ①客室稼働率

- 新型コロナウイルス感染症の拡大が大きく影響

客室稼働率（全社）

(%)



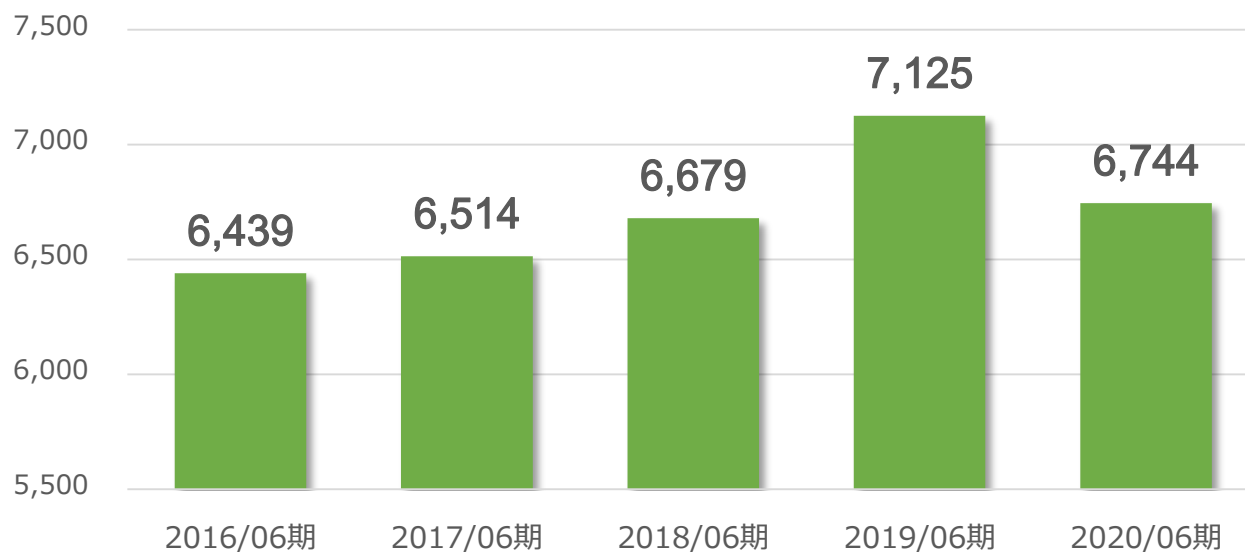
	2016/06期	2017/06期	2018/06期	2019/06期	2020/06期
チョイスホテルズ事業	83.4	84.3	84.1	83.8	64.2
グリーンズホテルズ事業	79.4	80.1	80.0	77.0	60.8

主な営業指標 ②客室単価

- 客室稼働率の急低下を反映し、平均客室単価も下落

客室単価（全社）

（円）



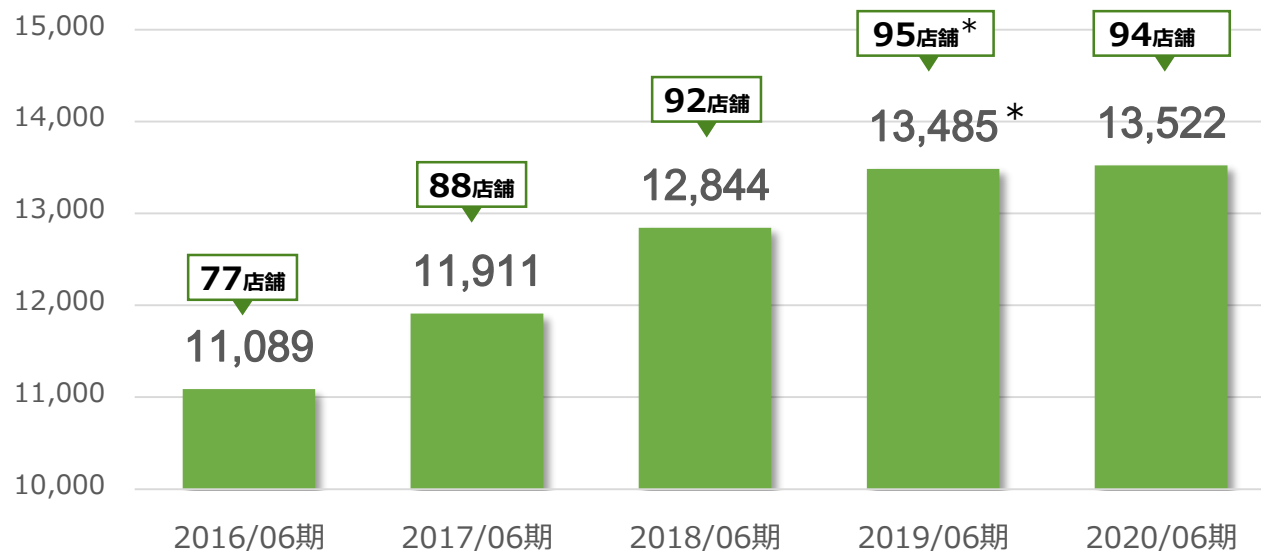
	2016/06期	2017/06期	2018/06期	2019/06期	2020/06期
チョイスホテルズ事業	6,636	6,727	6,956	7,463	7,115
グリーنزホテルズ事業	5,838	5,850	5,850	6,016	5,587

主な営業指標 ③客室数

- 2店舗を閉店、一方で新規出店は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から期初予定の2店舗から1店舗に減少

期末客室数（全社）

（室）

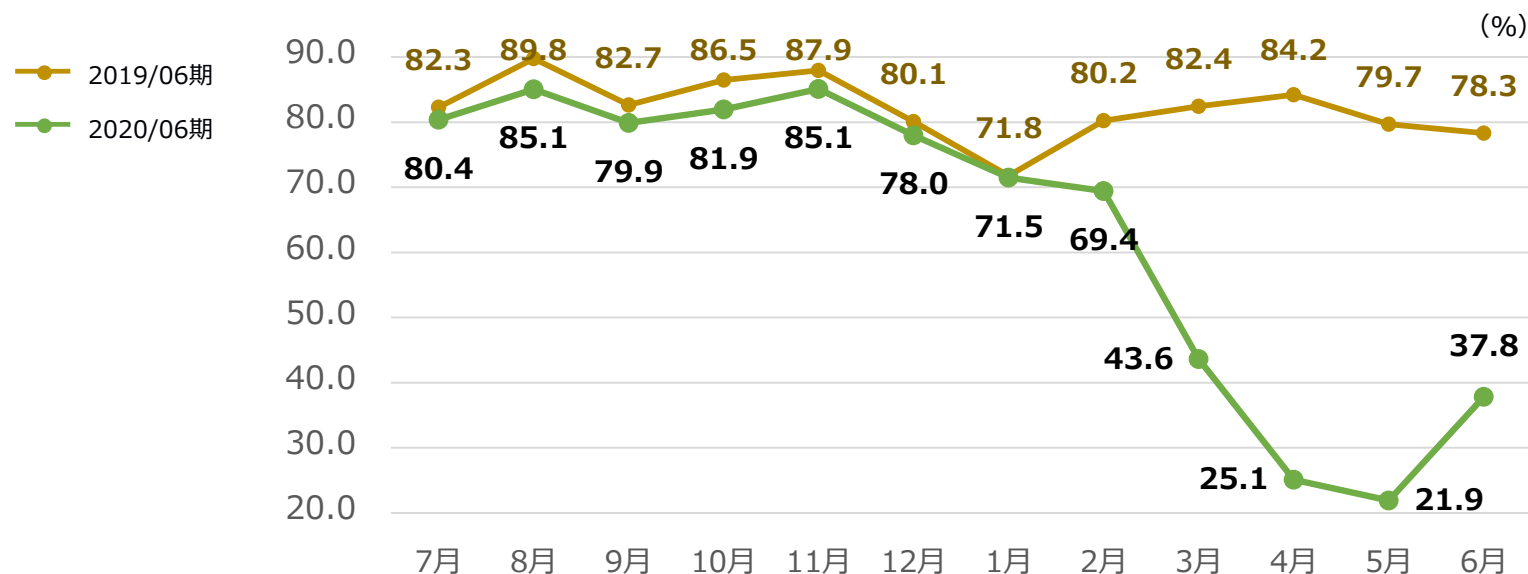


	2016/06期	2017/06期	2018/06期	2019/06期	2020/06期
チョイスホテルズ事業	8,214	8,899	9,550	10,185	10,133
グリーンズホテルズ事業	2,875	3,012	3,294	3,300*	3,389

* 2019年8月13日の取締役会にて閉店を決議した「ホテルエコノ名古屋栄」（2019年4月中旬より休業中）を除く。よって決算短信に記載の数値とは異なる

客室稼働率の月次推移

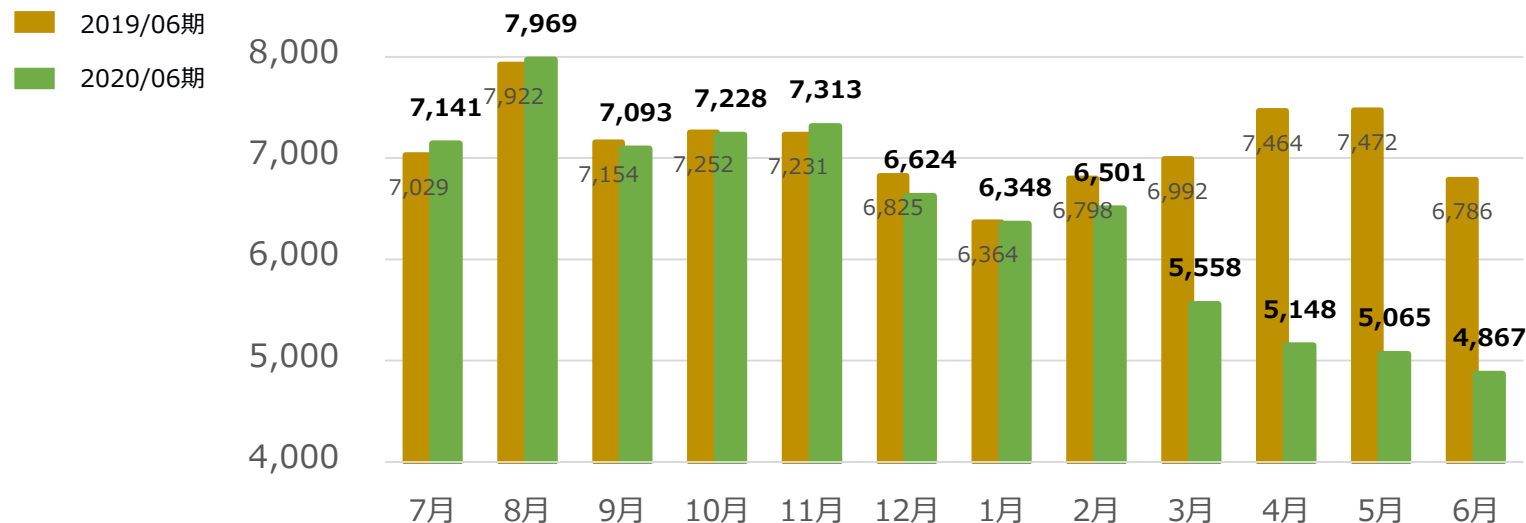
客室稼働率（全社）



	年度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
チョイスホテルズ事業	2019/06期	83.4	89.9	84.0	87.4	88.8	81.8	74.1	82.6	83.6	86.2	82.3	82.1
	2020/06期	83.8	88.0	83.0	83.8	86.7	79.8	73.4	70.2	40.5	23.2	20.4	37.9
グリーنزホテルズ事業	2019/06期	78.9	89.4	78.7	83.8	85.3	74.9	64.7	72.9	78.9	78.2	72.0	67.0
	2020/06期	70.4	76.5	70.9	76.5	80.3	72.7	65.9	67.0	52.7	30.9	26.6	37.4

客室単価の月次推移

客室単価（全社）

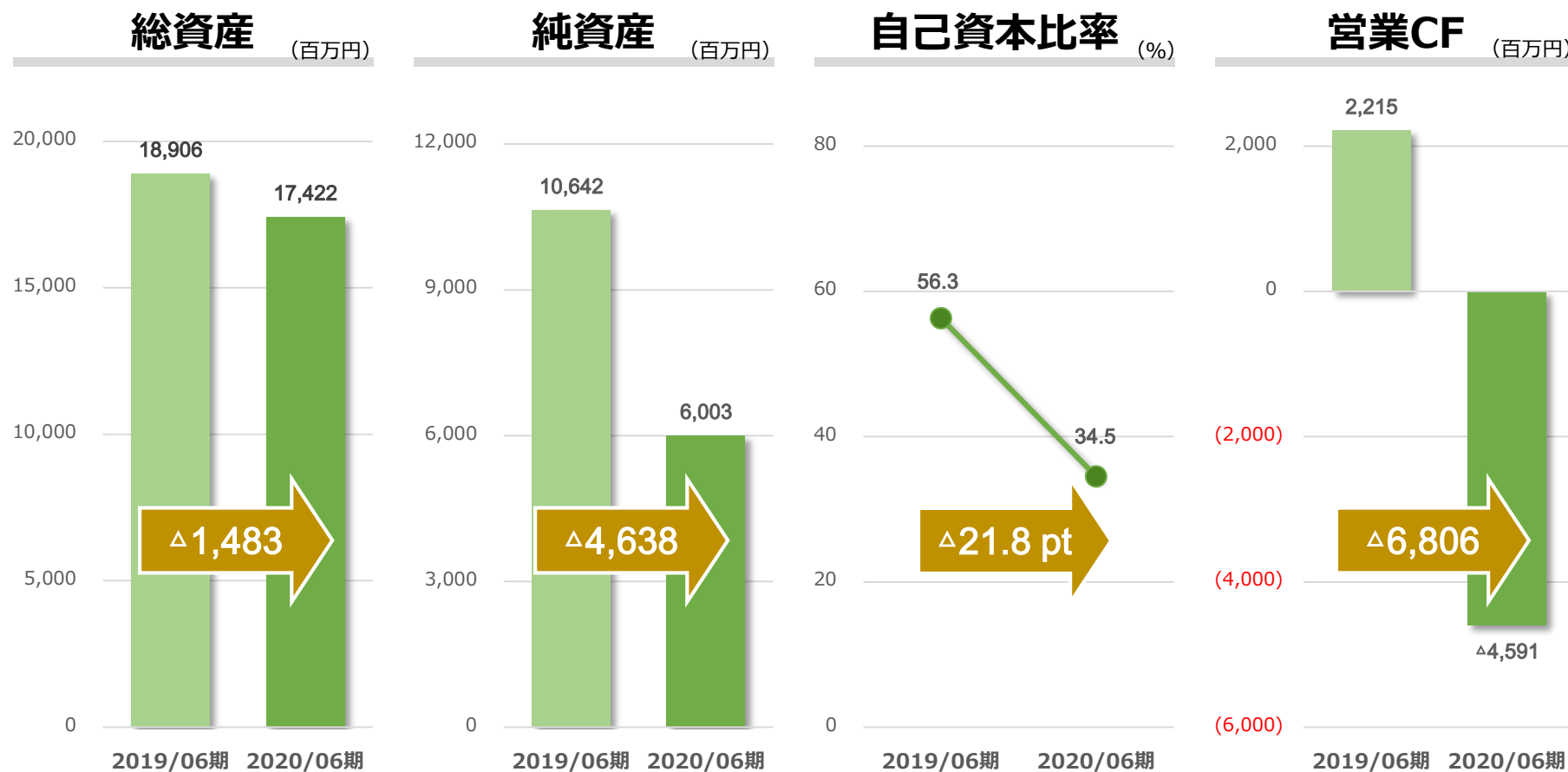


	年度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
チョイスホテルズ事業	2019/06期	7,389	8,262	7,530	7,515	7,599	7,170	6,625	7,194	7,380	7,836	7,789	7,107
	2020/06期	7,540	8,429	7,498	7,592	7,788	6,997	6,670	6,895	5,753	5,270	5,104	4,870
グリーنزホテルズ事業	2019/06期	5,928	6,934	5,982	6,409	6,055	5,669	5,447	5,421	5,720	6,220	6,391	5,615
	2020/06期	5,761	6,431	5,716	6,070	5,808	5,417	5,275	5,269	5,111	4,875	4,974	4,855

財務関連指標

運転資金及び事業運営における機動的かつ安定的な資金調達手段を確保

- 2020年4月に当座貸越契約により50億円を借り入れ
- 2020年6月に借入金総額125億円のシンジケートローン契約を締結



3. 収益力強化に向けた取り組み

足元の状況

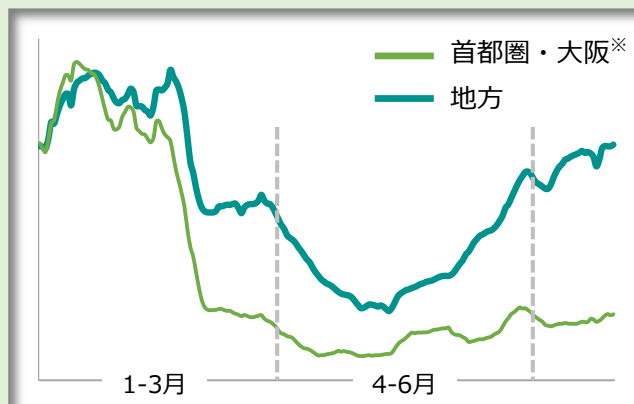
基本的な対応

- 衛生面の対応に全力 ⇒ 顧客の信頼維持
- 従業員の雇用を維持 ⇒ 需要回復・稼働急上昇にスムーズに対応できるよう準備
- 将来に向けた投資 ⇒ 継続

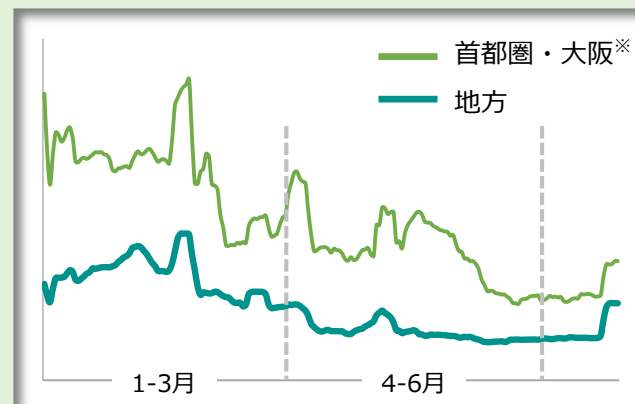
事業環境の変化

- 地方で回復の兆し ⇒ 地方にも展開してきたリスク分散戦略が奏功

客室稼働率の推移（イメージ）



客室単価の推移（イメージ）



※ 対象は東京都、千葉県、神奈川県、大阪府に立地する9店舗

今後の想定

- 回復時期は不透明ながら需要は必ず戻る

⇒ ビジネス需要 … WEB会議、テレワークが普及しても、その結果として地理的により広範囲なネットワークが形成されることにより、新たな移動需要が生まれる

その他にも…

- ・ 訪日外国人客数の推移

⇒ SARS（2003年）、リーマンショック（2008年）、東日本大震災（2011年）等を経験してきたが、増加基調は変わらず

- ・ 国内レジャー需要

⇒ 余暇活動としての国内観光旅行の参加人口も同様に増加基調を維持

- 各自治体、行政による観光需要喚起策（Go To トラベルキャンペーン）
- 競争力のないホテルが淘汰されることによる需給バランスの改善
- ホテルオペレーターチェンジの発生

当社の場合

神戸案件：2020年11月 営業開始予定（2020年8月13日開示）

現状の出店計画



今後の収益力強化に向けた継続的取り組み①

- **チョイスホテルズ事業のさらなる強化**
- **競争力の源泉たる“人財”の確保・成長に向けた投資**
- **デジタル活用による新たな顧客体験と生産性向上の実現**
- **新規事業参入によるシナジー・新需要獲得・収益基盤の安定化**

今後の収益力強化に向けた継続的取り組み②

2018年6月期から展開している新ブランドコンセプトの具現化を通じて認知度の向上を図る



CHOICE
HOTELS JAPAN™



ブランドコンセプト “Color your Journey. 旅に、実りを。”



- ホテルに求められる重要な要素を実現しつつ、お客さまの旅がより実り多いものになるように、コンフォートブランドならではの体験をお客さまにお届けする

今後の収益力強化に向けた継続的取り組み③

画一的・標準的なモデルを活かしてボリュームゾーンで効率的に稼ぐ
主要事業と位置づけ、経営資源の集中投資によりさらなる強化を実施

商品力の強化

- コンフォートライブラリーカフェの展開拡大



- 朝食・快眠の強化
- 客室およびロビー空間の見直し
- 接客力・現場力の向上

国内ビジネス需要を主軸に、レジャー・インバウンドを含む多様なニーズに対応し、
提供価値の向上を図る

今後の収益力強化に向けた継続的取り組み④

画一的・標準的なモデルを活かしてボリュームゾーンで効率的に稼ぐ
主要事業と位置づけ、経営資源の集中投資によりさらなる強化を実施

販売戦略の最適化

- チョイスホテルズのグローバル予約システム(Central Reservation System : CRS)とのシステム接続強化により海外販売サイトとの連携を拡大し、販売量増加・単価上昇を図る



- 平均客室単価(ADR)からOTA* 等の販売手数料を除いた正味平均客室単価(net ADR)を社内管理指標として正式採用

着実な収益最大化を図る

*Online Travel Agency …実店舗を持たずに、インターネット上で旅行商品を取扱う旅行会社

今後の収益力強化に向けた継続的取り組み⑤

グリーンズの中長期成長戦略を推進する人財の質と量を確保するため、人事採用・人財育成・働き方改革の各人財戦略分野へ重点投資

より機動的に多様な人事課題に取り組むことが可能な組織体制へ
(人事部から**人事本部**への格上げ + **人財戦略室**の新設)

- 🌱 キャリアプランの設計と成長支援
(経営幹部の早期育成を図る)
- 🌱 女性のマネジメント登用や活躍推進支援

- 🌱 階層別研修に加え、スキルアッププログラム
(接客力・現場力の向上研修等)の推進・充実化

- 🌱 D&I推進組織の立ち上げ
- 🌱 多様多様な人財の積極的採用
- 🌱 皆が自由に働ける人事制度
の構築・運用

- 🌱 賃金水準は正・改善
- 🌱 休日・休暇日数の増加
- 🌱 公正なマネジメント登用の機会提供
- 🌱 コミュニケーションを
重視した評価制度を構築
- 🌱 健康経営の推進

- 🌱 業務プロセスの改善や、業務管理適正化の
推進を人事制度面で支援

経営人財

人財
育成

ホスピタリティ

- 🌱 ホスピタリティスキル向上支援の
強化
- 🌱 トレーナーに加え、メンター育成
やモチベーション向上の取り組み

グリーンズの
人財戦略

人事・
採用

安心して働く
環境づくり

働き方向上

働き方
改革

生産性向上

- 🌱 ライフイベントを支援する継続
雇用の仕組みづくり
- 🌱 従業員のエンゲージメント向上
に向けた取り組みや活動を推進

- 🌱 IT活用によって業務効率性を向上
- 🌱 テレワーク整備と勤務形態の多様化を推進
(育児・介護等による働き方支援)

今後の収益力強化に向けた継続的取り組み⑥

デジタル戦略室を新設、デジタルを活用した「新たな顧客体験の創造」「生産性向上」の両輪を実現

新たな顧客体験の創造

セルフチェックインシステム導入拡大
店舗フロントスタッフはおもてなしに注力



**スーツケース・
パーキングの導入拡大**
無料カードキーで、
自由に何時でもスピー
ディーにご利用可能



**翻訳端末システム
の導入拡大**
インバウンド向けおもて
なしサービス向上



**スマホ会員
システム構築**
接点増加によ
る宿泊客の呼
び込みやリ
ピート

**宿泊客の顔認証機能
パーソナライズした
おもてなしを実現**

**AI・IoT・Roboticsを
活用した店舗**
室内品質維持・ロボット
による清掃・運搬

生産性向上

店舗 業務

- セルフチェックインシステム等の導入拡大による業務負荷軽減
- 手入力業務の自動化 - 店舗業務（事務作業）自動化による余力の創出
- 店舗業務のWebアプリ化 - 店舗業務（事務作業）のリモートワーク対応

基幹 業務

- システムの簡素化・利便性向上 - ITリテラシーに依存しない操作容易なUIを導入
- テレワーク・Web会議積極活用 - 本社・店舗業務効率運用による余力の創出
- クラウドシステムの積極活用 - 本社サーバ・各種ツールへのクラウド積極活用

**AI・Big Dataを活用
した各種予測**
需要をはじめとする
各種予測の最適化を
実現

将来に向けた投資

Withコロナ下で優先順位を再確認し、成長路線回帰に必要な投資を継続

●チョイスホテルズ事業

コンフォートライブラリーカフェ
の展開拡大
新規商品・サービスへの開発投資

・コンフォートホテル広島大手町で
ベッドタイプのサイズアップと
シングル → ツイン変更

30ページ
参照

●グリーنزホテルズ事業

戦略店舗のバリューアップ
新業態への事業拡大

・ホテルエコノ福井駅前に
コワーキング&貸会議室を開設
・ホテルエスプル名古屋栄を中期
滞在型ホテルとしてリニューアル

31ページ
32ページ
参照

●経営基盤の更なる強化/働き方改革・生産性向上への取り組み

人財への投資
IT・デジタル投資

セルフチェックインシステムは
非対面でチェックインが可能

●新規事業に関する研究調査

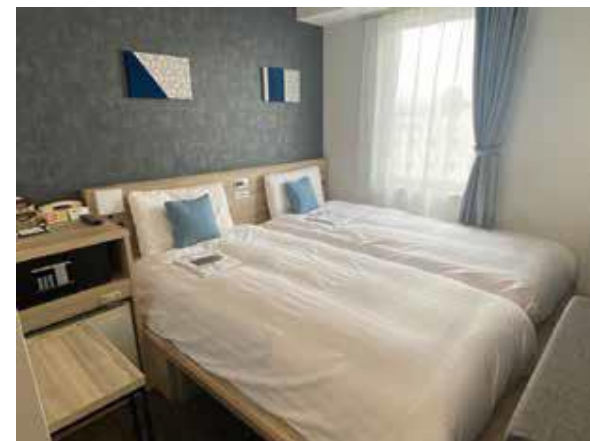
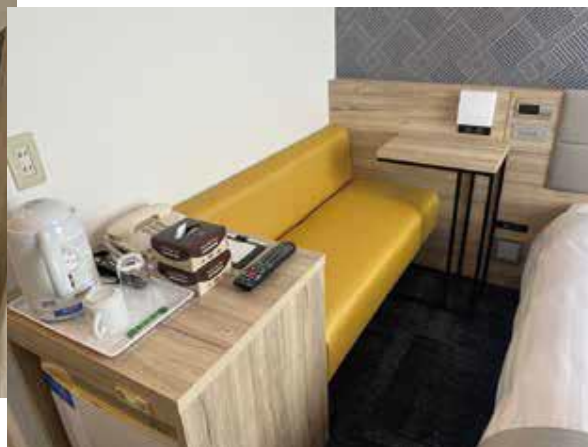
レジャー需要の取り込みを企図した商品力強化でDOR* を向上させ、 客室単価の上昇を実現

*Double Occupancy Ratio … 1室当たりの平均宿泊者数＜宿泊者数÷販売客室数＞

- クイーンコンパクト
 - ・ ベッドサイズをダブルからクイーンにサイズアップ
 - ・ 家具も一新（デスクのあったスペースにソファ設置、テーブルは自由度の高い小型のものとし、通常用途に加え、広いベッドに横になった際はサイドテーブルとして利用可）
- ツインコンパクト
 - ・ 既存のシングルルームに小上がり仕様の床を設置、そこにベッド2台を設置
 - ・ コンパクトな客室を最大限活用するため、小上がり下に空間をつくり、スーツケースなどの荷物収納スペースとした



クイーンコンパクト



ツインコンパクト

▶▶▶ 今後の投資対象店舗への水平展開の可能性を検討

付加価値の提供であるコンフォートライブラリーカフェとは異なり、
直接収益に貢献するコワーキングスペース・貸会議室を開設

- コワーキングスペース

- ・ JR「福井駅」より徒歩1分の好立地。会員での利用はもちろん、ドロップインの都度利用は会員登録なしで利用可能
- ・ また、ホテル宿泊者は無料で利用可能



福井駅前 会議室 & コワーキング

「Lo・CoCo」

ノマドワーク・会議・打合せ・イベントなど様々な使い方ができる
「場所(Location)」の提供を前提に、「繋がり(Connect)」、
「協働(Collaboration)」、「地域(Community)」がキーワード



ホテルのサービスとウィークリーマンションの機能を兼備した中期滞在型ホテルとして新たな需要の獲得を図る

● 中期滞在フロア

- ・ 5泊以上の専用宿泊プランのお客様だけに割り当てられる「中期滞在フロア」を設け、フロア宿泊者だけが利用できる無料ランドリーコーナー等を設置
- ・ 室内では、連泊ユーザーのニーズが高い備品を新たに用意

室内



コーヒーメーカー



サンダル



マルチ充電器



ベッド下収納スペース



冷蔵冷凍庫



加湿空気清浄機

無料ランドリーコーナー



フロア宿泊者
専用

電子レンジコーナー、喫煙所



コスト削減への取り組み

経営環境の激変にも耐え得る体制の実現に向け、全社的にあらゆる内容を見直すことでコスト削減に取り組む。

●全社的な取り組み

賃料交渉	
外注費交渉	清掃代 等
人件費	社員のシフト調整、賞与カット、諸手当カット、出張抑制 等
設備管理費の見直し	
水道光熱費	節水器具の利用、電気料金や通信費の交渉 等
食材費	調達ルートを見直し
手数料	クレジットカード手数料 等
役員報酬のカット	
WEB会議の活用	交通費や出張費の削減

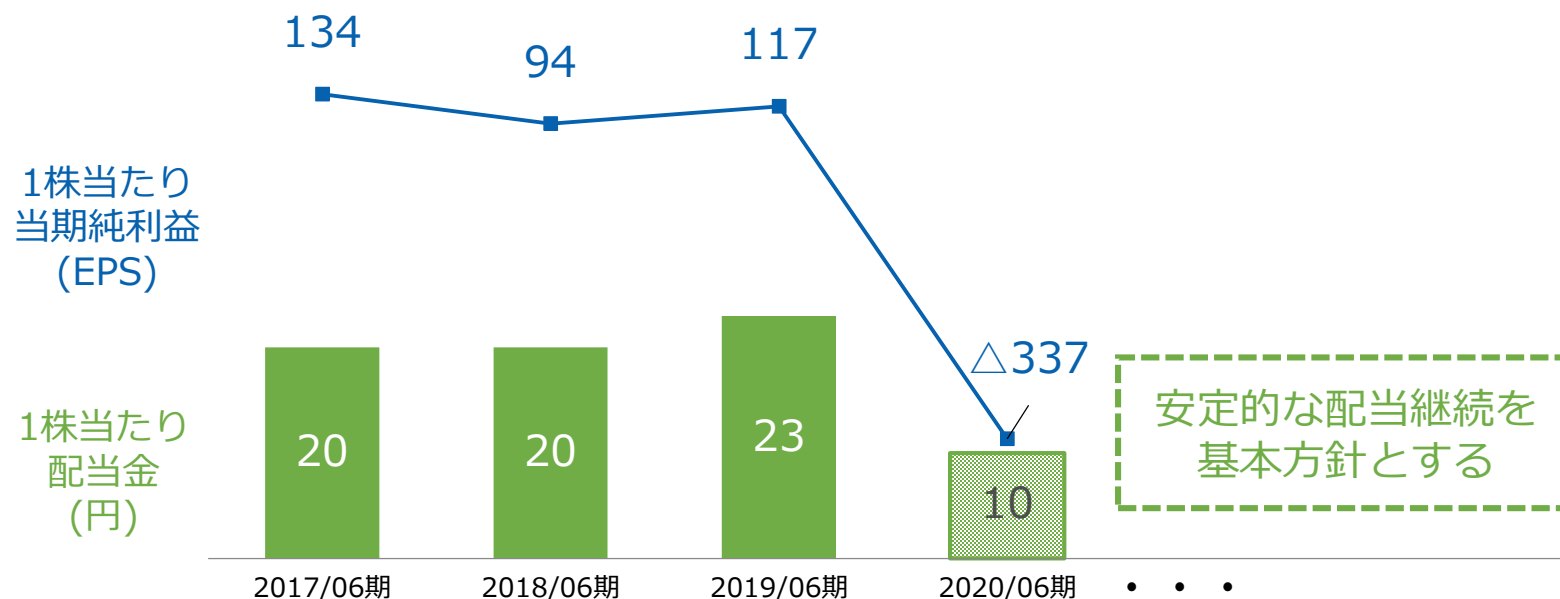
●店舗における活動

清掃業務	一部を内製化、頻度の見直し
その他	一部アメニティの商品規格見直し 等

株主還元の基本方針

配当性向・ROE・ROA等を総合的に勘案し、安定的な経営基盤の確立と業績向上による安定した配当の継続を基本方針とする

1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の推移





TRY! NEXT JOURNEY

新たな旅に踏み出そう

もっと、 自由な旅へ

高い利便性とコストパフォーマンスをお約束するホテル事業をベースに、世界中のすべての人へ安らぎのある「自由な旅」を提供します。

もっと、 人と環境のそばへ

お客様はもちろん、働く人たちも含めたステークホルダーの皆様の人生も輝くホテル経営を。人と環境に優しいホスピタリティあふれる企業を目指します。

もっと、 ワクワクする未来へ

お客様のニーズを一步先取り。ワクワクするような感動のあるサービスを提供します。また、新たな仕組みを積極導入し、働く人たちが楽しみながら成長できる環境を創ります。

Appendix

事業スキーム



Choice Hotels International
(チョイスホテルズインターナショナル)

マスターフランチャイズ契約



チョイスホテルズジャパン

フランチャイズ契約

チョイスホテルズ事業



40ヶ国以上7,000軒以上の
ホテルチェーンのグローバルなブランドカ

世界基準のホテル運営ノウハウ

グリーンスホテルズ事業

GREENS HOTELS

シナジー

60年以上

にわたるホテル運営の実績と信頼

ドミナント戦略

により合理化されたコスト構造

他社との
差別化

2つの異なるスタイルのホテル事業を有し、双方の特性を融合することで幅広い事業展開を実現



Choice Hotels International (チョイスホテルズインターナショナル)

40カ国7,000軒の規模を誇るホテルフランチャイズチェーン



- 1938年創業（本社アメリカ、メリーランド州）
- 世界40カ国以上の国と地域で7,000軒以上のホテルを展開
- ニューヨーク証券取引所とNASDAQに上場

ブランド一覧

アップスケール

ASCEND

CAMBRIA

アッパーミッド
スケール



ミッドスケール



エコノミー



成長のあゆみ①

～ 創造と挑戦を続ける企業文化で、業界内で独自ポジションを構築～

1987年

株式会社グリーンズに
社名変更

1975年

現在の新四日市ホテル*
を開業・多店舗構想

1957年

新四日市ホテル創業



創業・多店舗化

2015年

株式会社ベストを
子会社化

2003年

チョイスホテルズ
インターナショナルと
マスターフランチャイズ
契約を締結

1999年

コンフォートイン
1号店開業
(コンフォートブランドの1号店)



全国展開

2018年

東証一部・名証一部昇格
新経営体制への移行



2017年

創業60周年
東証二部・名証二部上場



株式上場

2018年

チョイスホテルズ事業

新カテゴリーブランドの投入
(コンフォートスイーツ東京ベイ)
⇒ 顧客層の多様化に向けた対応

新ブランドコンセプト

「Color your Journey. 旅に、実りを。」
の発表

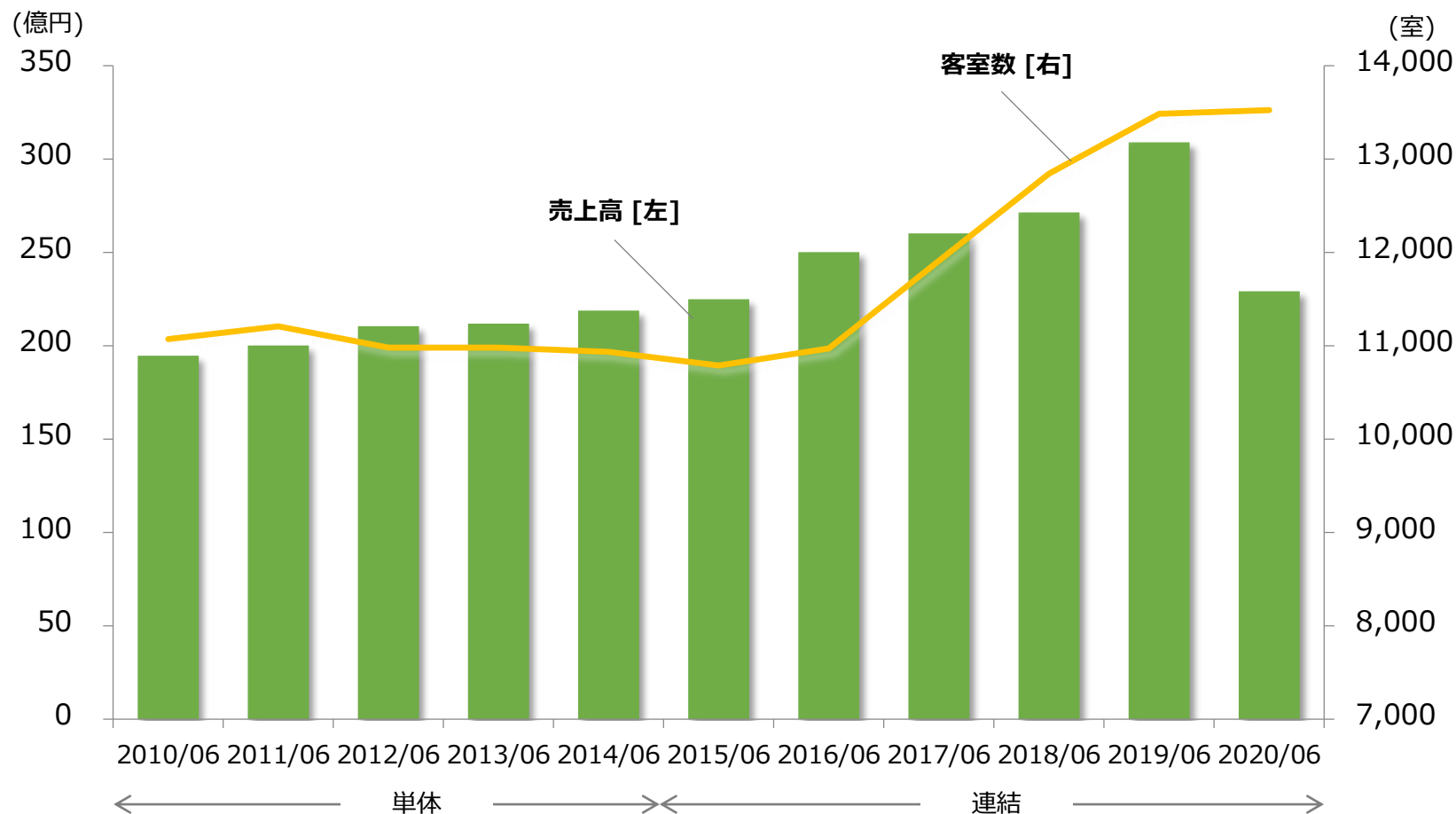


新たな挑戦へ

*新四日市ホテルは2019年12月27日をもって閉店

成長のあゆみ②

過去10年の売上高は安定成長を実現、近年は客室数も増加基調



グリーンズグループは、価値共創の旅を開始します。

当社グループは、新経営体制への移行を契機に、2030年の未来を見据え、新たなグリーンズグループの価値創出に向けて踏み出しました。今後すべてのステークホルダーとともに、社会に新しい価値を生み出し、分かち合い、発展・成長していくことを目指していきます。

そこで全社員のベクトルを一つにするために、2019年、2つの大きな指針を打ち出しました。

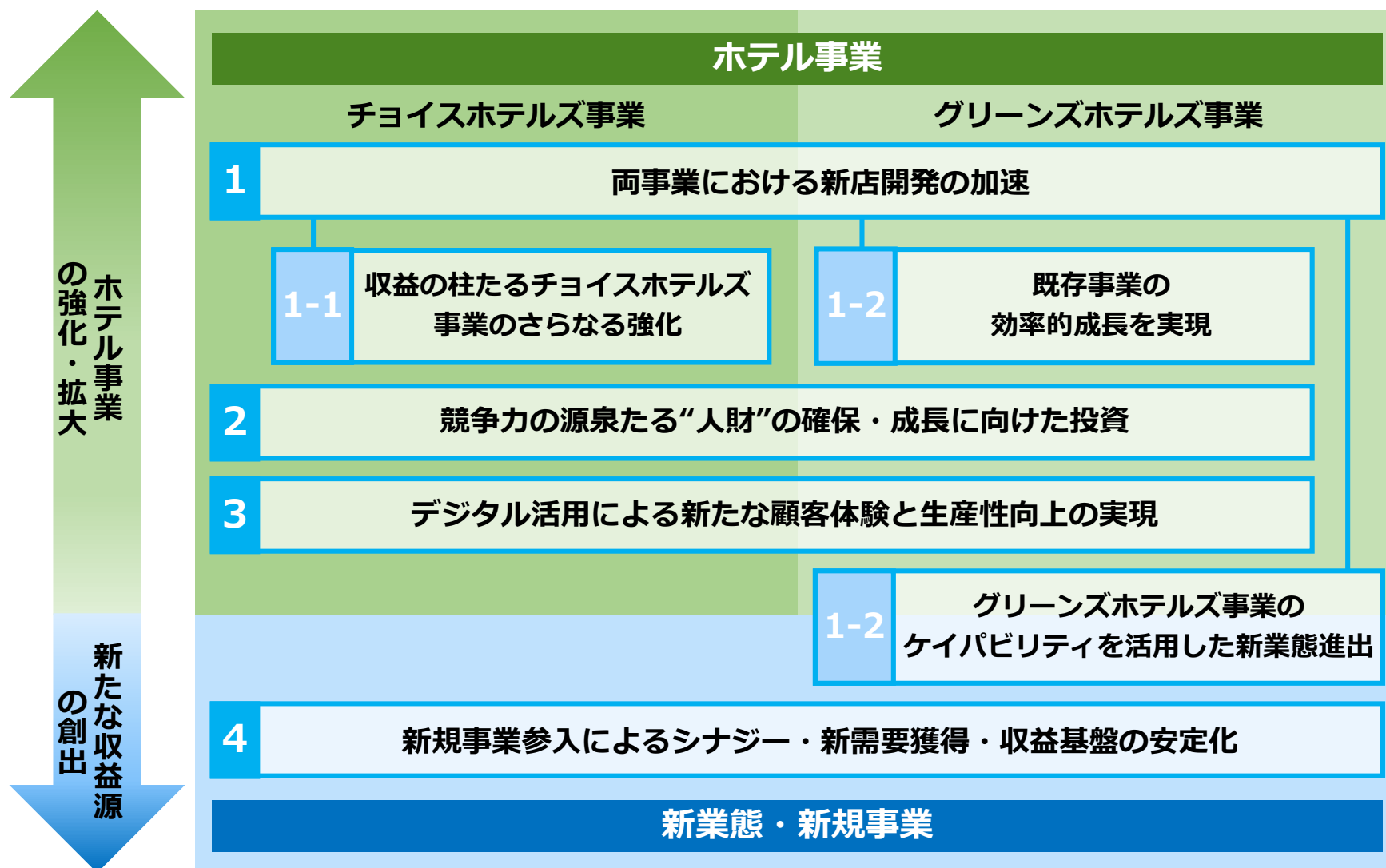
新経営ビジョン

「TRY! NEXT JOURNEY ~ 新たな旅に踏み出そう ~」

グリーンズグループ2030年CSR宣言

「環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業」

重点戦略



グリーングループ2030年CSR宣言

2030年SDGs達成に向けて、グリーングループ2030年CSR宣言
「環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業」を策定

当社が取り組む4つの重点課題と対応するSDGs目標

当社が取り組む4つの重点課題と対応するSDGs目標		
環境配慮	「グローバルスタンダード」な環境企業を目指す	7 気候変動に 適応する 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 適応する
コミュニティ 支援	コラボレーションを通じて、店舗展開地域と当社事業の 活性化を図る	11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
人づくり	多様な人材が活躍できる環境が整備され、観光分野に おける2030年労働問題を克服する	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう
特長ある サービス	健康で実りある、心も身体も元気になるサービスを提供 することで、quality of lifeの維持向上に貢献する	3 すべての人に 健康と福祉を 17 パートナーシップで 目標を達成しよう

中期目標の計画・
KPIの設定

計画・KPIの
達成度評価

KPIの再設定・
新たな課題の抽出

・ SDGs目標の達成
・ 新ビジョン実現

4つの重点課題への取り組み

重点課題の深堀、
新たな課題への取り組み

2020/06期～

～2025/06期

～2030/06期

免責事項

本資料は、当社の業績および今後の経営戦略に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券ならびに当社商品への募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2020年8月25日現在のデータに基づいて作成しております。

なお、当資料に掲載された計画・見通し等は、作成時点での当社が把握し入手可能な情報からの判断および想定に基づくものであり、経営環境の変動等により今後変更される可能性があり、実際の業績等は大きく異なる場合がありますことを予めご了承ください。

■お問い合わせ先

株式会社グリーンズ 総務部

電 話 : 059-351-5593

E-mail : greens-info@greens.co.jp